

# 国立国語研究所学術情報リポジトリ

## Cover, Colophon and Contents

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2020-07-09 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://repository.ninjal.ac.jp/records/2852">https://repository.ninjal.ac.jp/records/2852</a>

# 国立国語研究所論集

NINJAL Research Papers

19

2020年7月

July 2020

## 1. 刊行

国立国語研究所（以下、「研究所」という。）における研究活動の活性化と成果の公表及び所内若手研究者育成を目的として、『国立国語研究所論集』（英語名“NINJAL Research Papers”）を各年度に2回（原則として、7月と1月）オンライン版で発行する。ただし、2020年度については冊子体でも発行する。

## 2. 投稿資格

投稿時に次のいずれかに該当する者とする。ただし、共著の場合は第1著者が次のいずれかに該当すればよい。

(1) 研究所の研究教育職員・研究員

(2) 研究所の客員教員、非常勤研究員・プロジェクト研究員、外来研究員、共同研究プロジェクトに参加している共同研究員（外来研究員及び共同研究員の場合は、それぞれ、受入れ教員及び参画している共同研究プロジェクトのリーダーに相談の上、投稿すること。）

(3) 研究所の名誉教授

(4) その他、国立国語研究所論集編集委員会（以下、「編集委員会」という。）が認めた者

(注)上記(1)(2)に該当する者が退職または任期終了した場合は、その後5年間は投稿資格を有するものとする。

ただし、年度途中の退職または任期終了は、その年度末に発生したものとみなす。

## 3. 投稿時期

投稿原稿の締切は、毎年3月、6月、9月、12月の各10日とする。

## 4. 論文内容

(1) 投稿は未公開のオリジナルな原稿に限る。他誌に投稿中の原稿は投稿できない。

(2) 研究所の設置目的に沿う内容なら、理論・記述・調査・実験等の手法や分析の枠組みは問わない。ただし、「2. 投稿資格」の(2)に該当する者が投稿する場合は、内容は研究所在職中の研究内容・成果に限るものに限る。

(3) 研究所の研究教育職員・研究員及び非常勤研究員・プロジェクト研究員が投稿する場合は、原則としてNINJALサロンで発表し、そこでの指摘を反映させた原稿とする。また、共同研究員が投稿する場合は、原則として、参画している共同研究プロジェクトの研究発表会で発表し、そこでの指摘を反映させた原稿とする。

(4) 共同研究員が投稿する場合は、論文の内容は、共同研究プロジェクトの研究内容及び研究成果であること。（後略）

(5) 外来研究員が投稿する場合は、論文の内容は、滞在期間中の研究題目に関する研究内容及び研究成果であること。（後略）

(6) 研究の中間報告、既発表論文のデータ補足的な報告も可とする。

## 5. 原稿のカテゴリー

「論文」のみとし、研究ノートや書評紹介は含めない。

## 6. 原稿の書式等（略）

## 7. 原稿提出方法（略）

## 8. 著作権

著者は、原稿を投稿する際に、以下を承諾したものとする。

- ・個々の論文の著作権は著者に帰属する。
- ・著者は、論文の複製権と公衆送信権の行使を研究所に許諾する。
- ・その他「国立国語研究所における編集著作物の取扱いについて」に定められている事項。

なお、他の著作物に掲載された図版の転載等にかかわる著作権処理、及びデータの利用・公開にかかわる関係者の許諾取得は、著者の責任において行うこと。

## 9. 採否

原稿の採否は、編集委員会が査読の上、決定する。

## 10. 校正（略） 11. 稿料（略）

「投稿・執筆要領」の全文および『国立国語研究所論集』オンライン版は、  
国立国語研究所ウェブサイトをご覧ください。

Please visit the NINJAL website. You can download (i) the entire text of the guidelines for manuscript submission and the style sheet, and (ii) full-text PDF files published in *NINJAL Research Papers*.

<https://www.ninjal.ac.jp/publication/papers/>  
<https://repository.ninjal.ac.jp/>

編集委員会 Editorial Board \*委員長 Editor-in-chief

福永由佳 (FUKUNAGA Yuka)	井上文子 (INOUE Fumiko)
松本 曜 (MATSUMOTO Yo)	新野直哉 (NIINO Naoya)
山口昌也 (YAMAGUCHI Masaya)	山崎 誠 (YAMAZAKI Makoto)*

## 国立国語研究所論集 第19号

NINJAL Research Papers No. 19

2020年7月31日 発行

編 集 国立国語研究所論集編集委員会

発 行 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構  
国立国語研究所  
〒190-8561 東京都立川市緑町 10-2  
TEL: 0570-08-8595 (ナビダイヤル)  
<https://www.ninjal.ac.jp/>  
E-mail: [papers@ninjal.ac.jp](mailto:papers@ninjal.ac.jp) (編集委員会)

印刷所 中西印刷株式会社

#### Variation in the Encoding of Motion Events in Turkish

NAGAYA Naonori, SUZUKI Yui and ENOMOTO Emi

文法形式と比喩の関係——知覚動詞を用いた直喩について——

菊地 礼

北奥方言の外来語のアクセント資料

上野善道

日本語学習者における接続助詞「～から」の発達過程  
——学習環境の違いと接続助詞「～ので」との比較から——

佐々木藍子

中国人社員と日本人上司による許可求めのロールプレイ会話の分析  
——会話参加者の行動と意識から探る外国人材育成のヒント——

蒙 韞(韞)・中井陽子

日本語学習者の作文における並列・継起の接続表現の習得  
——中国語母語話者の縦断コーパスの分析を通じて——

董 芸

スペイン語アルファベットによる日本語音声表記

野田尚史・高澤美由紀

『現代日本語書き言葉均衡コーパス』のロシア語翻訳データの構築と  
その日露対照研究への活用の可能性

宮内拓也・プロホロワ マリア

平安初期訓点資料における不読字の再検討

——コーパス・電子化テキストを用いた訓点語研究の試みとして——

柳原恵津子

目 次 Contents

**Variation in the Encoding of Motion Events in Turkish**

NAGAYA Naonori, SUZUKI Yui and ENOMOTO Emi

トルコ語移動表現の経路表示のバリエーション 長屋尚典・鈴木 唯・榎本恵実 1

---

文法形式と比喩の関係

——知覚動詞を用いた直喩について——

菊地 礼

Relation Between Grammar and Metaphors: Analyzing “Similes”

Using Verbs of Perception

KIKUCHI Rei 31

---

北奥方言の外来語のアクセント資料

上野善道

Accent Data of Foreign Words in the Northern Tohoku Dialects

UWANO Zendo 47

---

日本語学習者における接続助詞「～から」の発達過程

——学習環境の違いと接続助詞「～ので」との比較から——

佐々木藍子

Developmental Process of Conjunctive Particle “kara” in Japanese Language Learners:

A Comparison of the Learning Environment and Conjunctive Particle “node” SASAKI Aiko 89

---

中国人社員と日本人上司による許可求めのロールプレイ会話の分析

——会話参加者の行動と意識から探る外国人材育成のヒント——

蒙 韞 (韞)・中井陽子

An Analysis of Role-playing Conversational Data on Asking for Permission

by Chinese Subordinates and Japanese Superiors: Seeking Hints on Training

Foreign Workers from the Actions and Consciousness of Participants

MENG Yun and NAKAI Yoko 109

---

日本語学習者の作文における並列・継起の接続表現の習得

——中国語母語話者の縦断コーパスの分析を通じて——

董 芸

The Use of Parallel and Sequential Conjunctions in JFL Learners’ Writing:

An Analysis of the Longitudinal Corpus of Chinese Native Speakers DONG Yun 127

---

スペイン語アルファベットによる日本語音声表記 Japanese Phonetic Notation Using the Spanish Alphabet	野田尚史・高澤美由紀 NODA Hisashi and TAKASAWA Miyuki	139
---	--	-----

---

『現代日本語書き言葉均衡コーパス』のロシア語翻訳データの構築と その日露対照研究への活用の可能性 Construction of Russian Translation Data for the “Balanced Corpus of Contemporary Written Japanese” and the Possibilities of Using Them in Japanese-Russian Comparative Studies	宮内拓也・プロホロワ マリア MIYAUCHI Takuya and PROKHOROVA Maria	167
--	--	-----

---

平安初期訓点資料における不読字の再検討 ——コーパス・電子化テキストを用いた訓点語研究の試みとして—— A Reexamination of the Silent Characters in the <i>Kunten</i> Materials of the Early Heian Period: A Study of the Language of <i>Kunten</i> Materials Based on Corpora and Digitized Texts	柳原恵津子 YANAGIHARA Etsuko	187
--	----------------------------	-----

---